

みんなでまもりつづける。羊蹄山と湧き水のまち 京極



きょうごく

Public information Kyogoku

1

2026

No.825



年頭の挨拶



京極町長
佐 古 岡 秀 徳

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。また、日頃より町行政に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。また、京極町での交通事故死「ゼロ」が昨年12月17日に8千日を達成することができます。これも、町民皆様の交通安全意識の高さの表れであり、引き続き交通安全運動へのご協力をお願いいたします。

はじめに、昨年12月8日夜に発生しました青森県東方沖を震源とした地震におきまして、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年を振り返りますと、10月に日本憲政史上初の女性首相が誕生しましたほか、各地で熊による被害が多発するなど、様々な出来事があつたほか、京極町の身近な出来事として、俱知安町巽1年でした。その中でも、京極町の環境との共存について改めて考えさせられた年でもありました。

国内情勢におきましては、ここ数年物価上昇が続いており、特に食料品や光熱費が大きく上昇し、家計への影響は顕著であります。このような課題に直面するなか、昨年3月から6月までの期間で、京極町独自の政策となる物価高騰対応生活支援として、全町民に対し一人あたり5千円の生活応援券を配付させていただき、多くの町民に活用していただいたところです。現在は、商工会のご協力によりプレミアム

商品券事業を実施中ですが、さらなる追加支援策について準備を進めているところであり、町民の皆様の生活に寄り添った対策を、時機を逸することなく取り組んでまいります。

昨年8月には、障がいのある子どもたちとそのご家族、そして地域の皆様が一緒になつて交流し、支えあいの輪を広げることを目的とした「いけませ夏フェス2025㏌きょうごく」が京極町で開催され、各地から約千名にご参加いただきました。開催にあたり、町民を中心約350名がスタッフとして運営に携わつていただきなど、皆様には準備から運営まで多大なるご尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。また、多くの参加者から「素晴らしいイベントだった」とお褒めの言葉をいただきましたことを、あわせてご報告させていただきます。

昨年の農業は、大きな台風被害等もなく、無事に収穫作業を終え安堵しているところでございますが、その一方で本町の主要作物である馬鈴薯の収穫量が大きく減り、とりわけ種子馬鈴薯につきましては、今年の生産にも影響を及ぼすほど厳しい状況となつたことは、残念な思いであります。今年は実りある1年となることを切に願っております。また農業対策の一つとして、ヒグマや鹿、アライグマ等の有害鳥獣対策に取り組んでおり、獣友会の方々と密に連携し、個体数の削減に努めております。今後も安心・安全な農産物の生産に向けた対策を講じ



てまいります。

林業につきましては、昨年は北岡地区において治山工事を実施し、林地崩壊の未然防止に取り組みました。今後も、引き続き林地の整備を進めてまいります。また、森林環境譲与税を活用し、地域材利用の促進、民有林整備に対する助成、人材育成や担い手の確保、林道の適切な維持管理等を進め、脱炭素社会の実現のため森林の持つ多面的機能を効果的に発揮できるよう、林業の振興に努めてまいります。

商工業につきましては、新規創業や業種の追加・転換などを行う事業者への支援をより使いやすい制度に変更するなど、商工業者への各種支援を実施してまいりました。今後とも事業者の皆様には、町内を活気づけていただくため、ますますのご活躍を願っております。

また、ふきだし公園周辺の整備に関しましては、住民の皆様にもご参画いただきながら議論を重ね、「ふきだし再開発整備基本構想」を策定したところであり、その後、民間企業にも参画いただきながらサウンディング型市場調査を実施しました。引き続き、ふきだし公園周辺の再開発整備の具現化に向けた取り組みを進めてまいります。

建設工事関係につきましては、町道改良舗装工事や下水終末処理場改修事業をはじめ様々な建設工事を実施してまいりました。冬季は町道の除雪を継続し、町民の皆様が快適に生活できるよう努めているところです。今後も計画的に各種社会資本（インフラ）の整備を進め、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

昨年は地域おこし協力隊員を新たに3名採用しました。現在は5名の隊員が農業や情報発信など様々な分野で活動いただいているところであり、今後も地域おこし協力隊の増員に努めてまいります。また、隊員を多くの町民に知つていただけるよう、広報等での更なる周知や、各種行事への積極的な参加を図つてまいります。

子育て支援につきましては、高校生までの医療費無償化や保育料の無償化に加え、令和7年度より学校給食費の無償化と全保育園児に対し米飯の提供を開始しました。また、高校生の保護者に対して助成し

ている「遠距離就学支援助成金」についても、小樽市以外の後志管内に通学している生徒に対する助成額を引き上げております。今後も、幼稚から高校生まで幅広い子育て支援に取り組んでまいります。

デジタル技術の活用に関しましては、京極町の情報発信をより強化するため「京極町アプリ」を開発しました。このことによつて、ホームページや防災無線等に加え、スマートフォンでも情報を受け取ることができるようになり、多くの町民にアプリを活用いただいております。また、近日中に京極町のホームページも刷新する予定です。今後も従来の回覧板や防災無線を併用しながら、デジタル技術による情報発信に努めてまいります。

昨年は、プロ野球北海道日本ハムファイターズの地域貢献活動の一環として実施している「北海道応援大使プロジェクト」が後志の自治体を対象に行われ、応援観戦ツアーや野球教室など、様々な事業を実施しました。今後におきましても、このような北海道内のプロスポーツチームと連携した取り組みができるよう、関係機関への働きかけを行つてまいります。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。本年もよろしくお願ひいたします。

て必要な医療を継続的、安定的に提供できる体制の取り組みにご期待を申し上げます。

基幹産業である農業は、春の訪れが早く、融雪、蒔き付け作業は順調に進みました。昨年も記録的猛暑が続き、例年より作物の生育に大きな影響があり、主産物の収穫量は、小玉傾向で平年を下回りました。農業は京極町の基幹産業でありますので、関係者と議論を重ね安定経営に向けての取り組みを進めてまいりたいと考えています。

林業につきましては、森林の多面的機能を図るために、適切な間伐等の森林整備を計画的に実施され、健全な森林となるよう、立地条件や地域の環境に応じた整備を願うものであります。さらに、野生動物による被害については、森林の公益的機能への影響が懸念されるため、森林所有者等と連携し防止策を進めるなどを願うとともに、森林は地域の共有財産であり、資源の循環利用を計画的に推し進めて頂きたいと思っております。

商工業につきましては、物価上昇、資材高騰、また近隣町村のスーパーへの流出もありますが、商工業関係者の皆さまには、魅力ある商工業の振興はもとより、地域振興全般にわたり活発な活動を展開しておられますことに感謝申し上げます。今後におかれましても、地域に根ざした販売促進事業を展開いただき、大きな成果に繋がりますよう願っております。

町議会といたしましては、ますます多様化する社会・経済情勢の変化を的確に把握し、これまで以上に町民の皆様の多様な意見を町政に適切に反映させることができますよう議員一人一人が研鑽に努め、資質の向上を図ることはもとより、町議会が町民の皆様に寄り添つた、より身近な存在でなければならぬと感じています。

本年も全議員が一丸となり、京極町の発展に尽くしてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちあふれた素晴らしい年となりますようご祈念申し上げまして年頭の挨拶といたします。

農業委員会		選挙管理委員会		羊蹄山ろく消防組合消防署京極支署		消防団		主任児童委員	
委員長	会長代理	事務局長	委員長	支署長	阿部良秀	班長	主幹	〃	〃
委員員長	委員員長	委員員長職務代理者	委員員長	副支署長	和田英樹	副分団長	副幹	吉川由紀子	芳賀和代
〃	〃	〃	〃	〃	高橋英樹	第一分団長	主幹	南川喜世美	小浦方雅子
委員員長	委員員長	固定資産評価審査委員会委員長	有末由美子	高橋口	藤山和也	副分団長	副幹	吉川靖也	岡本美弥子
〃	〃	委員員長	榎本静城	田中	和田良秀	班長	主幹	鳥谷寿美恵	和泉幸浩
委員員長	委員員長	石井静子	吉川由美子	川	阿部良秀	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田礼子
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	橋	和田英樹	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	秀樹	藤山和也	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	輝	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	樹	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	英	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
〃	〃	遠藤和智子	吉川由美子	和田志尚	和田志尚	副分団長	副幹	吉川由紀子	和田志尚
委員員長	委員員長	遠藤和智子	吉川由美子						

INTERVIEW インタビュー



Q1. 団体はどのような目的で活動されているのですか？

私たちの団体は、京極町の女性たちが集い、共に学び、地域社会に貢献することを最大の目的としています。具体的には、『会員相互の教養を高め、親睦を図る』こと。そして、その力を活かして『社会に貢献し、文化生活の向上を図る』ことです。40代から80代まで約100名の会員が、この目的に基づき、年間を通して花植えやごみ拾いなどのボランティア活動を行い、また、地元のお祭りへの参加を通じて地域を盛り上げています。

Q2. 活動していく大変なことは何ですか

最も深刻な課題は、会員の高齢化が進んでいることです。現在、会員の年齢層が上がり、長年活動の中心を

担ってきたベテラン会員の負担が大きくなっています。また、多様化するニーズに応えるため、すべての会員が関心を持ち、教養を深められるような活動を企画し続けることが難しい点です。時代の変化に合わせて活動内容を見直していく必要があり、この団体の目的と伝統を見直していくためにも、広く新しい仲間を迎えるための工夫が必要だと感じています。



京極女性の会

▶ゴミ拾いボランティアの様子



▶茶話会の様子



Q3. 活動を続けていてよ
かったと思う瞬間はどん
なときですか？

それは、世代を超えた交流
が生まれた瞬間や、地域の
方からの感謝の言葉をいた
だいたときですね。例えば、
私たちが植えた花が町を美
しく彩り、それを見て町民
の方が笑顔になつているの
を見たとき。また、先日、

地域おこし協力隊の隊員さ
んと茶話会を開催したので
すが、隊員さんが持つ新し
い視点と、私たちが持つ京
極の歴史や文化を共有し、
お互いに刺激を受けられた
のは大きな喜びでした。世
代間の垣根を越え、地域の
未来と一緒に語り合えるの
は、この会ならではの特権
だと思います。

Q4. 今後の目標や展望を
教えてください

私たちが最も重視している
目標は、この京極女性の会

の活動と歴史を未来へ確
実に継承していくことです。
そのためにも、活動の担い
手の確保は喫緊の課題だと
認識しています。今後は、
会が培つてきた教養と親睦
の精神を基盤に、会員の知
恵と力を結集させ、地域の
環境美化や文化振興など、
さらにまちづくりに深く貢
献していくつもりです。京
極町の活力を高め、『京極
町つていいな』と誰もが誇
りに思えるような豊かな地
域づくりに貢献し続けるこ
とが、私たちの最大の展望
です。この活動にご理解い
ただける新しい仲間を心よ
りお待ちしています！

◎お問い合わせ先
京極女性の会事務局

(42-3534)



11/15

保育園生活発表会

11月15日、京極保育園で第57回目の成果発表会が開催されました。

当日は多くのご家族の方に見守られ、日頃練習してきた成果を精一杯発揮していました。



11/23

秋の文化祭

11月23日、公民館で秋の文化祭が開催されました。

当日は、朝の9時から始まり、公民館の大ホールでは各出演者によるステージ発表が行われました。

外ではコロッケや、丸亀市のうどんの販売、ロビーでも様々な飲食やフリーマーケットが行われ、賑わいを見せた1日となりました。





京極町チャレンジ教室 「おもしろ工作・体験教室」開催！

11月6日に湧学館で「おもしろ工作・体験教室」を開催しました。このイベントは、京極町と包括連携協定を締結している北海道科学大学から、平元理峰准教授をお招きし、子どもたちの創造性を育むことを目的に行われました。平元准教授は、「流れ中の渦構造に関する研究」を行っている専門家で、科学の仕組みを子どもたちにも分かりやすくお話しいただきました。

体験教室では、身近な材料を使った紙コップ飛行機や空気砲の作成と体験が行われ、参加した11名の子どもたち（小学3年生～6年生）は、自ら考えながら手を動かし楽しく学んでいる様子が見られました。特に、水蒸気を充填した大きな空気砲から放たれる渦輪を目の当たりにした子どもたちは、驚きと興奮の表情を見せ、目を輝かせながら観察していました。

今回の体験を通して、子どもたちは工夫と創造性に満ちた工作を楽しみながら、貴重な時間を過ごすことができました。

京極町教育委員会生涯学習課では、これからも子どもたちの知的好奇心を育てるような活動を積極的に展開していきます。



京極小学校で人権教室を開催

11月7日に京極小学校で「人権教室」を開催しました。

対象は2年生、4年生、6年生で、それぞれの学年に合わせた内容で実施されました。

「人権とは何か」、「他人への思いやり」、「相談することの大切さ」というお話を中心に、子どもたちにもわかりやすい言葉で伝えられ、子どもたちも真剣に耳を傾けていました。

このような機会を通じて、未来を担う子どもたちが他者を思いやる心を育み、人権の大切さを実感するきっかけになってほしいと願っています。

困ったことがありましたら、役場住民福祉課にご相談ください。京極町の人権擁護委員は中村 厚子氏、櫻 貢氏の2名です。



北海道応援大使プロジェクト選手交流会 2025

11月19日に、北海道応援大使プロジェクト選手交流会が京極小学校にて開催されました。

北海道日本ハムファイターズの生田目投手と河野投手が来校し、質問コーナーや児童とのキャッチボール、選手によるデモンストレーションなどが実施されました。

質問コーナーでは、「緊張とはどのように向き合っていますか?」「やりがいを感じるのは、どのような時ですか?」などの質問が飛び交い、両投手は誠実に、親しみやすく答えてくれました。

子どもたちは感謝の気持ちを込めて、代表児童がお礼の言葉を述べ、その後ファイターズ賛歌と校歌を歌いました。

両投手の温かな雰囲気に包まれ、子どもたちの笑顔が絶えない思い出深い一日となりました。



ぬいぐるみのおとまり会

11月29日、湧学館図書室で「ぬいぐるみのおとまり会」を開催しました。子どもたちはクリスマスツリー前で写真を撮った後、お気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加し、ぬいぐるみを預けます。おはなし会では、目をキラキラさせて読み聞かせボランティアさんの読み聞かせを楽しみました。

ぬいぐるみのお迎えのときには、おとまり中のぬいぐるみの様子(図書室の中を探検したり、幼稚室のおもちゃで遊んだり、持ち主の子のために絵本を選んだりして過ごしていました)をまとめたフォトアルバムを嬉しそうに受け取り、ぬいぐるみの選んだ絵本を借りていってくれました。



一生懸命がかつこいい！ スポーツ健闘の証

第41回後志管内小中学生剣道錬成大会

場所：京極町総合体育館

第41回後志管内小中学生剣道錬成大会(同大会実行委員会主催)が11月2日(日)京極町総合体育館で行われ、後志管内の幼稚から中学2年生までの85名の剣士が日頃の稽古の成果を競い合いました。

京極町からは10名の選手が参加しましたが、そのうち6名はこの大会がデビュー戦となりました。初めての公式試合に戸惑いながらも、懸命に竹刀を振り果敢に戦う姿は、今後にとっても楽しみが持てる素晴らしいものでした。

試合は、来年度以降を想定した新たな学年によるメンバー構成で行う団体戦と、各学年に分かれて行う個人戦がそれぞれ実施され、小学生団体Aの部と小学1年生の部において3位入賞を果たしました。

○個人戦 小学1年生の部

第3位 吉川和葉

○団体戦 小学生団体Aの部

第3位 京極・黒松内合同チーム

【土田絃、尼子陽華俐、村上柊成、
小林保太郎(黒松内)、吉川伊織】



まちの事件簿

事件

○11月中、京極町での事件の認知はありませんでした。

事故(事例)

○11月27日、町道において出会い頭衝突人身事故発生

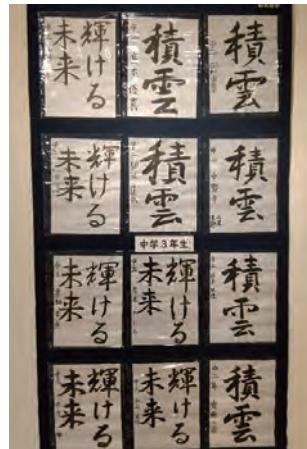
令和7年11月末 交通事故発生状況

	7年	6年
人身	3件	3件
物損	72件	59件
死者	0人	0人

京極町地域安全協会
俱知安警察署

令和7年度児童生徒作品展

京極町内の児童生徒による作品展を開催しました。子どもたちが小中学校で取り組んだ書道134作品・美術136作品の出品があり、力強い書道作品から、小学校内を描いた絵、紙袋を使った立体作品など個性豊かな作品が展示されました。



令和7年度読書感想文コンクール

京極町内の中学生を対象に実施している読書感想文コンクールに57点の応募があり、審査の結果、学年ごとに入賞作品が選ばれました。感染症拡大防止のため表彰式は中止となりましたが、受賞作の作品集を発行していますので、ぜひ湧学館でご覧ください。

賞	学年	タイトル	氏名
最優秀賞	中学1年生	「汝の敵を愛せよ」	藤波 くらら
優秀賞	中学1年生	アルジャーノンに花束を	高木 実梨
佳作	中学1年生	「死ぬんじゃねーぞ！！」を読んで	田村 陽
佳作	中学1年生	私にとっての花	山岡 璃子
佳作	中学1年生	花から学んだこと	山崎 結莉夏
最優秀賞	中学2年生	二人一組になってくださいを読んで	行天 映理
優秀賞	中学2年生	アミ 小さな宇宙人	江口 葵來亜
優秀賞	中学2年生	「成瀬は天下を取りにいく」を読んで	大場 煌希
佳作	中学2年生	超高速！参勤交代リターンズ	岡村 由貴
佳作	中学2年生	スマホ脳を読んで	田居 慶大
最優秀賞	中学3年生	15歳のテロリスト	佐藤 優
優秀賞	中学3年生	つらいときこそ笑顔でを読んで	入山 夏羽
佳作	中学3年生	読書感想文が終わらない！	栗栖 亜蘭
佳作	中学3年生	光の粒が舞いあがる	西方 智
佳作	中学3年生	カラフルを読んで	関 栄太朗

町民の声を町政に反映! 令和7年度まちづくり懇談会を開催

多くのご参加ありがとうございました

今年度の「まちづくり懇談会」は、11月27日に町内3会場で開催し、延べ54名の町民の皆様にご参加いただきました。お忙しい中、また会場準備にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

懇談会では、町側からの報告事項に続き、活発な意見交換が行われ、町の将来を見据えた貴重なご意見・ご要望を多数いただきました。いただいたご意見の一部を掲載いたします。

皆様からの大切なご意見・ご要望は、今後の町政推進の重要な参考とさせていただきます。また、国や道をはじめとする関係機関・団体に対しても、必要な提言・要望をしっかりと行ってまいります。

報告事項の概要

町長および担当課から、主要な施策や取り組みの進捗についてご報告いたしました。

◎町長からの報告

- (1) まちづくり懇談会のより良い開催方法について
- (2) かけまぜ夏フェス2025へのご意見について
- (3) 京極温泉について
- (4) 農業を取り巻く現状と対策について
- (5) 物価高騰対策(町独自の支援策など)について

◎担当課からの報告

- (1) 役場庁舎内の機構改革と各課配置換えについて(総務課)
○10月からの役場1階の配置変更についてご説明しました。
- (2) ふきだし再開発整備の進捗状況について(商工観光課)
○基本構想の策定を含む、今後のスケジュールと取り組みについてご報告しました。

町民からの主なご意見・ご要望

【総務・商工観光・企画・財政関係】

- 財政状況の現状と今後の見通しについて
- 防災非常食の備蓄・更新計画について
- 町からの情報発信手段の強化（町公式アプリ、ラジオCM等）
- 京極温泉の利用客について
- ふきだし再開発整備の具体的な内容について
- いけませ夏フェス2025・ひよみつまつりの開催について



【建設・産業関係】

- 道路（国道・道道・町道）の整備・維持補修の促進について
- 鳥獣対策の強化と農業助成・鳥獣被害補助の継続要望
- 農業者の後継者不足解消に向けた支援策について
- 山林管理について

【教育委員会関係】

- 地域おこし協力隊について
- 再生可能エネルギー導入について
- モンベルフレンドエリアの活用促進について
- 町内の防犯カメラの設置について
- 町内の公園の整備・維持管理について
- 町民プールの利用実態（県知安町からの利用客への対応など）について
- 総合体育館の利用料金および利用者のマナー問題について
- 公民館へのW.I.T.E.環境整備について

町では、これらの貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、より良い町づくりに活かしてまいります。



今月の生涯学習情報

生涯学習センター湧学館 42-2700・公民館 42-2203・総合体育館 42-2075



◆1月のカレンダー【図書利用時間10:00~18:00】

日	月	火	水	木	金	土
12/28	12/29	12/30	12/31	1	2	3
4	5	6	(7)	(8)	(9)	10
11	12	13	(14)	(15)	(16)	(17)
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■図書館休館日 ○イベント開催日

12/29(月)~1/5(月)まで

休館します(図書室)

※湧学館は29日(月)、30日(火)ともに開館しています

新年は1月6日(火)からの開館となります。
今年もたくさんのご利用をお待ちしております。

休館中の本の返却は
湧学館正面玄関の左側にある
(返却ポスト)をご利用ください



お子様対象 おはなし会

1月17日(土)11:00~ 場所: 幼児室(図書室内)

お時間は10分~20分程の予定です

ブックスタートプラス対象の方は
1月10日(土)までにお申し込みください
令和3年度生まれのお子様に絵本を
プレゼント★

1・2月の展示

初笑いで福を呼ぼう



[100万回死んだ
ねこ 覚え違い
タイトル集]
福井県立図書館
/編著

[イン・ザ・プール] [風と共にゆとりぬ]
奥田 英朗/著 朝井 リョウ/著

もってけ! 古雑誌リサイクルコーナー
1/6(火)~2/13(金)なくなり次第終了
湧学館で除籍した雑誌をご自由に
お持ち帰りいただけます!
冊数に制限はありませんので
気に入った本をお持ち帰りください
(お持ち帰り用の袋をご用意ください)



冬休み拡大貸し出し

12/25(木)~1/15(木) 【10冊 貸出期間】

お1人さま図書10冊+雑誌5冊
貸出可能です ※雑誌は1週間まで



冬休みイベント開催!

☆本を借りて福笑い☆



みんなで楽しい顔を作ろう!

12/25(木)~1/29(木)

本を借りた人に1日1つ福笑いパーツをプレゼント
(大人も子どもも)いろんな顔になるように
どんどん掲示板に貼ってね

◎映画上映会

「シルバニアファミリー フレアの

ハッピーダイアリー」

1/9(金) 13:30~

湧学館2階視聴覚室<入場無料・申込不要>

◎やってみよう! ボードゲーム♪

1/7~1/9・1/14~1/16 13:00~17:00

定員:なし(申込不要)



◎ちょっと司書体験

1/8(木) 13:30~15:00

対象: 小学3~6年生 定員: 3名(要申込)



★内容が変更になる場合がございます。

詳しくはHPでご確認ください。

《新着本のご案内》



[あそび・遊ぶ・
あそべ・遊ぼ！]
賀屋 哲男／監修



[子どものやる気を育てる
ごはんの法則]
藤川 里奈／著



[魚介の賢い食べ方]
[ゼロからはじめる
メルカリガイドブック]
桑名 由美／著



[わかりますう？]
林真理子／著



[燃ゆる頬]
堀 辰雄／著



[いたわりご飯]
水縞 しま／著



[東野圭吾公式ガイド
作家生活40周年]



[おおきなかぶ～]
ガタロー☆マン／著



[きれてる]
すずきのりたけ／著



[きみとわたしの
余命交換]
神戸 遥真／著



[果てしなき
スカーレット]
細田 守／著

PICK UP

湧学館図書室貸出回数
27回というコミック
「ゴールデンカムイ」(31巻)
が発売されてから3年以上
が過ぎ、今度は小説「ゴー
ルデンカムイ」がいよいよ
図書室に並びます！！

ゴールデンカムイ

鶴見篤四郎の宿願

原作／野田サトル
小説／伊吹 亜門



日露戦争での第七師団を
描いた、初のスピンオフ
ノベライズが刊行!!
野田先生による描きおろ
しイラスト多数!!



◎ 最新の新着本や、人気の本は〔左のQRコード〕
または〔湧学館ホームページ〕からご覧ください。
◎ 読みたい本のリクエストを受け付けています！
ご用意出来次第、電話やメールでご連絡いたします。

湧学館図書室 Q&Aコーナー ~こんなときどうするの？を解決！~

Q. 本が破けてしまいました。セロテープで貼った方がいいですか？

A. 貼らずにお持ちいただいて結構です。

セロテープは、のりが劣化して変色するため、せっかく貼っていただいても、薬液を
使ってはがすことになってしまいます。

ふせんも傷みの原因となりますので、不要な紙などを目印には
さみ、返却時に「やぶれました」とお伝えください。

また、元々やぶけていたり、落書きを見つけたりしたときは、
補修のためお預かりいたしますので、お声掛けください。

皆様のご協力をよろしくお願いします。



こんにちは

ほけんし
保健師です

～子育て世代のための京極町公式LINE～

京極町は、総合計画に基づき子育て施策に力を入れています。今回は子育て施策の中でも「伴走型相談支援事業」の一環として、妊娠期から切れ目なく支援を行うため、妊婦の方から未就学児のいる方を対象としている京極町公式LINE『まんまじょプラス京極町公式LINE～らくらく～』(以下らくらく)についてご紹介いたします。子育て世代以外の方にもこの機会に知っていただければと思います。



橋本保健師

Q. 伴走型相談支援事業とは？

A. こども家庭庁より、「妊娠届時から主に2歳までの低年齢期のご家庭に寄り添い、面談や継続的な情報発信を行う事を通じて支援を図るもの」として、推進されている事業です。

Q. 京極町の伴走型相談支援事業とは？

A. 京極町では、町民の方が安心して子育て出来る環境を目指して、真狩村にある助産院に委託のもと、妊娠届けから未就学児のいるご家庭を対象に、「らくらく」を用いて定期的な子育て情報の配信と、いつでもお気軽に相談が出来る体制を提供しています。従事者は保健師・管理栄養士・助産師・看護師・保育士と幅広い職種からの対応が可能となっております。

「らくらく」の機能を紹介！！

実際の画面や利用している方のコメントを添えて

知らないかった子育て情報が参考になる！

気になる症状があった時に相談したらすぐに対応してくれた！

予定の管理がしやすく、いつでも申し込みできるのがいい！

配信



週に2回、お子さんの成長や出かける時のポイント、事故防止に関する啓発、育児休業についてなど、幅広い内容を配信しています。



相談



いつでも相談が出来ます。「子どもの成長が気になる」「これって病院に行くべき？」という心配に対して助産師・保健師・管理栄養士が相談日から3日以内に対応しています。



事業申込み



乳幼児健診や食育事業、その他の保健事業をLINEにて周知しています。また、年間の予定はカレンダーから確認することができます。欠席の連絡や、参加申込を行うことができます。

【健康推進課よりお知らせです】
8月26日（火）にまっこりカフェを開催いたします。みんなで、栄養バランスバッチャリなおいしいランチを食べませんか？
このLINEからもお申し込み可能です。お申し込みの方は「まっこりカフェ参加」と入力し送信してください。（LINE messenger）
※このメッセージはすでにお申し込みされた方にも配信されています。



～アンケート調査～

今秋、対象の方にアンケートを実施し、利用している/していないに関わらず、「時間を気にせず使えるのが便利」「子どもの年齢にあった配信がいい」などの率直な意見をいただきました。集計したアンケート結果を基に、事業の見直し・改善を行ってよりよい子育てツールを作り上げていきたいと思います。アンケート調査は終了しましたが、ご意見・ご相談あればいつでもお聞かせください。

◎上記に関するご質問、お問合せは…健康推進課 保健師 電話：42-2111 e-mail：kenko@town-kyogoku.jp



貞村管理栄養士

Kenkuru。は、歩いたり、セミナーに参加したり、自分なりに楽しく生活することで「気づいたら健康になっていた」という仕組みを目指しています。

たくさん歩くことが目的ではなく、歩くことで、自分らしい生活を続けられる町民が増えるための健康応援事業です。

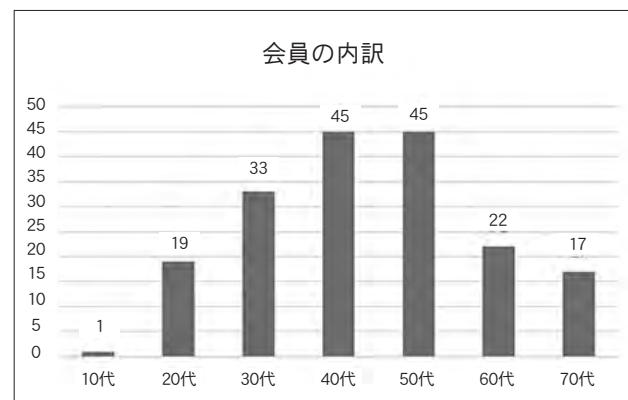
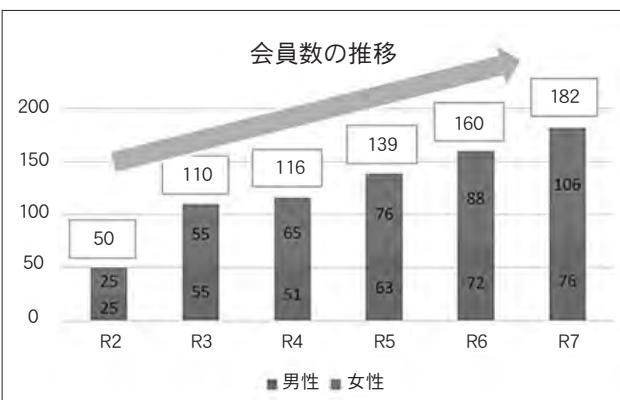
今月号では、Kenkuru。の現状や、11月に実施した中間セミナーの様子をお知らせします。

Kenkuru。の会員

Kenkuru。は今年で6年目です。

現在の会員数は182名で、年々仲間が増えています。

年齢別の内訳をみてみると、30～50歳代が会員全体の70%近くを占めています。



中間セミナーの様子

Kenkuru。では、年3回セミナーを実施しています。
11月19日（水）に中間セミナーを開催し、34名の会員が参加しました。



テーマ： ヨガ体験

講 師：京極町地域おこし協力隊

且見 紘理さん

昨年改訂された健康日本21という健康づくりの指針を基に作成された『運動づくりのための身体活動・運動ガイド2023』より、「成人は筋力トレーニングを週2～3日行うことを推奨する」と明記されました。

筋力トレーニングの前後にはストレッチが必要であり、ストレッチの一種であるヨガをテーマとしました。

ご意見、ご質問はこちらまで！

健康推進課管理栄養士 電話：42-2111 e-mail：kenko@town-kyogoku.jp



おはよう

子育て支援センター情報



京極町子育て支援センター TEL42-3000

開園時間 月～金曜日 9：00～11：30

15：00～16：30

閉園日 土・日曜日と祝日



あけましておめでとうございます。子育て支援センターでは、親子で楽しいひと時を過ごしていただけるよう、今年も気持ちを新たに、保護者の方とお子さんが楽しめる時間を大切にして過ごしていきたいと思っております。

本年も、京極町子育て支援センターを、どうぞよろしくお願ひいたします。



☆令和7年4月～11月に遊びに来てくれたお友だち☆

タイミングが合わず写真に写っていないお友だちもいますが毎日たくさんのお友だちが遊びに来てくれました！！



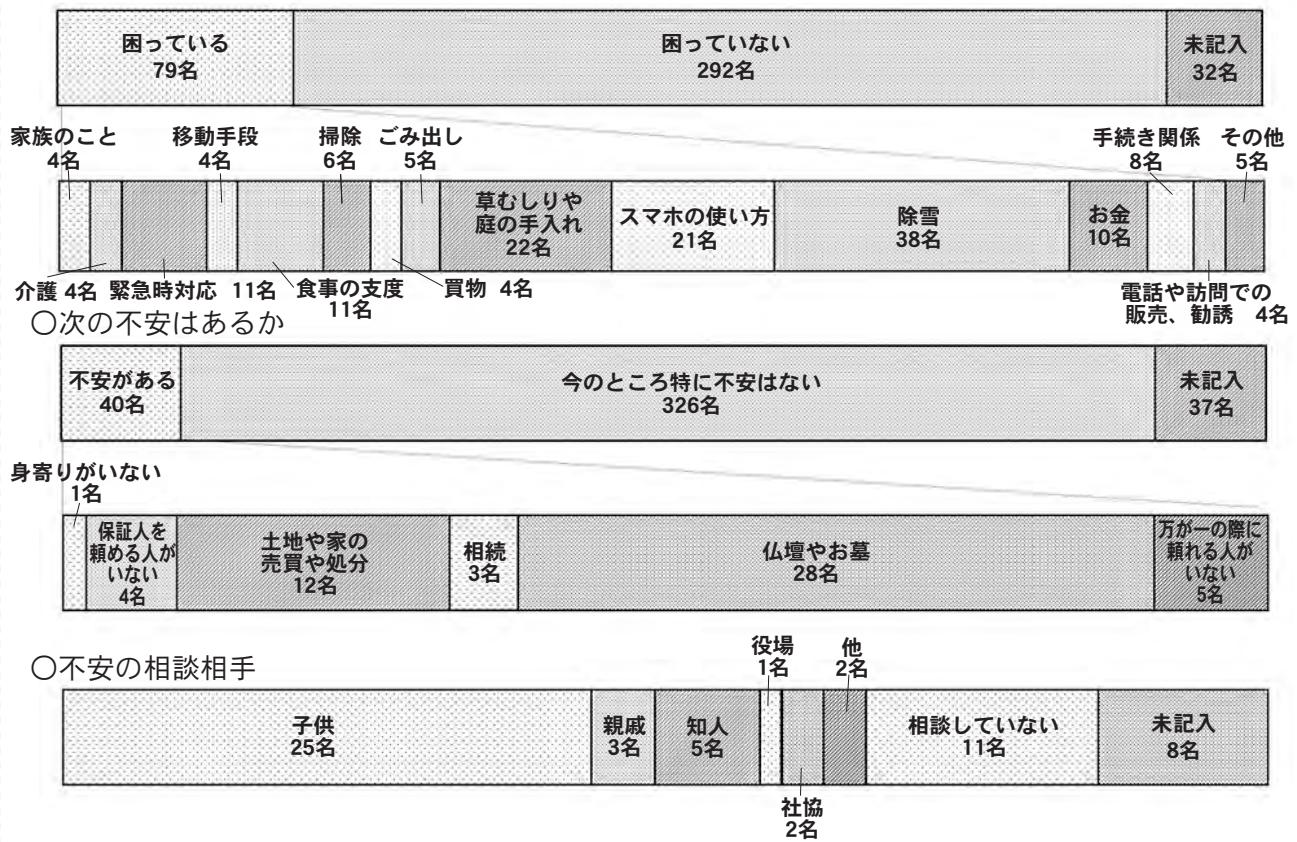
前期高齢者介護予防把握事業の結果～困りごとと不安～

今年6月、65～79歳の町民のみなさんに、基本チェックリスト（介護予防の必要がないか把握するための質問票）とあなたのくらしシート（健康・交流・困りごと・緊急時のそなえ・緊急連絡先など）を郵送にて調査させていただきました。ご協力ありがとうございました。

本事業は3年おきに実施しています。調査の結果、介護予防の必要性の高い方や、相談対応が必要と思われる方に対しては地域包括支援センターの職員が訪問や来所で対応させていただきました。

「困りごと」と「不安なこと」に関する調査の結果を紹介します。

○ふだんのくらしの困りごと



同年代のみなさんは共感できる部分が多いかもしれませんし、ご家族の立場だと「一緒に考えていかなくてはならない」と感じるかもしれません。

この調査は、80歳を過ぎると更に「困っている」「不安に思っている」と答える方は増えています。一人暮らしでご家族が遠方にいる場合は、特に該当する方が多くなります。困りごとや不安なことはそのままにせず、ご家族や相談機関へのご相談をお勧めします。ご自身のこれからの備えとしても大切です。

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口となっていますので、お気軽にご相談下さい。

京極町地域包括支援センター

電話／0136-55-8615（24時間対応）

相談専用メール／soudan65@kyougoku-shakyo.or.jp





年末年始の火災予防について



この時季は空気が乾燥し、暖房器具や火気を使用する機会が増えることから、火災の発生が増加する恐れがあります。

また、年末年始は休日が多く、外出などで家を空けたり、事業所も無人になります。

かけがえのない生命と財産を守るためにも、お出かけ前やお休み前はもちろんのこと、日頃からご家族でできる防火対策をしっかり行い、火災のない年末年始をすごしましょう。

『火の用心』大事なポイント

ストーブ

ストーブの近くに燃えやすいものを置かないようにしましょう。また、給油する際は、油種を確認し必ず火を消してから行いましょう。



コンロ

コンロを使っているときは、その場から離れないようにし、離れる時は、必ず火を消しましょう。また、グリルはこまめに清掃しましょう。



コンセント

コンセントは定期的に清掃するようにしましょう。



たばこ

寝たばこは絶対にしないようにしましょう。



消防への通報・連絡は下記まで

火事・救急・救助	(指令センター)	局番なし119番
災害案内専用電話	(自動音声)	22-6655番
その他お問い合わせ	(消防署京極支署)	42-2303番

羊蹄山ろく消防組合ホームページ
<https://www.yotei-fd.jp/> (羊蹄山ろく消防組合)





償却資産（固定資産税）の申告について

■ 儻却資産とは

固定資産税が課税される償却資産とは、土地及び家屋以外の事業の用に供することができる有形減価償却資産であって、所得税法又は法人税法の所得の計算上減価償却の対象となる資産のことです。

※ただし、自動車税・軽自動車税の対象となる車両は除く。

■ 申告が必要な方

個人や法人で事業を行っており、その事業に用いることができる償却資産をお持ちの方は、毎年1月1日現在の所有状況を申告する必要があります。（地方税法第383条）



■ 申告期限

令和7年度の申告期限は、令和8年2月2日(月)です。

■ 提出書類

12月下旬に申告書を送付します。届かないときや明細書が足りないときはご連絡ください。

給与支払報告書の提出について

事業主の方は、従業員の令和7年中の俸給、給料、賃金、歳費、賞与、その他これらの性質を有する給与の金額、その他必要な事項を記載した「給与支払報告書」を作成し、それぞれの従業員が令和8年1月1日時点（退職した方は、退職日時点）に居住する市町村の財政課（課税担当）宛てに提出することが義務づけられています。

金額の多少に関わらず、令和7年1月1日から令和7年12月31日の間に給与等を支払った事業主の方は、必ず提出してください。

なお、給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の提出先は、各市町村の財政課ではなく管轄の税務署ですので、お間違いのないよう気をつけてください。

給与支払報告書等の提出期限は令和8年2月2日（月）です。

＜問い合わせ先＞ 役場財政課 TEL：42-2111 内線25～27

地域おこし協力隊 活動報告 ～2026年1月～

全国から移住してきた隊員が、京極町の魅力を見つけ・磨き・伝えながら、町の産業や暮らしを元気にするために活動しています。ここでは隊員たちの毎月の活動を報告します。



▲Instagram QR



▲TikTok QR

アカウント名
kyogoku_kurashi

空き家改修プロジェクト

10月・11月にかけて、空き家の建物内に残されていた荷物の整理作業を行いました。不要となつた家具や使われていらない物は処分し、今後も使えそうな物は残すかたちで進めていきます。

作業中には、昔使われていた学生服やミシンなど、時代を感じさせる品々が出てくることもあり、京極町の当時の暮らしぶりを想像しながら、思わず手を止め見入ってしまう場面もありました。

現時点では大部分の荷物は片付き、建物内もかなりすっきりしてきました。今後は、少し残っている物の整理を継続しながら、改装に向けたプランを検討していく予定です。

他のプロジェクトとの兼ね合いで手をつけられない時期もありますが、進捗があれば引き続きお知らせしていきます。



且見祐介 隊員

「Kenkuru.」中間セミナー／ヨガ体験開催

健康サークル「Kenkuru.」のセミナーにて、ヨガ体験レッスン60分を担当しました。

昼の初級クラス、夜の中級クラスの2回を実施し、「気持ちよかつた」「楽しかった」など嬉しい声を多くいただきました。体をほぐすことの大切さや、運動習慣を見直すきっかけとなつていれば幸いです。今後も町の健康増進のお手伝いをしていければと思います。



▲「Kenkuru.」中間セミナー



且見絵理 隊員

シャキッと会～ヨガDay 開催

天候の悪い中、11月も多くの方にご参加いただきました。

リクエストにより「ヨガとは?」をテーマにお話ししてからレッスンを行い、皆さん深い呼吸で集中されている様子が印象的でした。レッスン後はすつきりとした表情で、寒い季節こそ体を整える大切さを感じる時間となりました。





田久保 佳志 隊員

人参・小豆収穫作業及び芋選別とコンテナ片付け作業の実施



▲コンテナ片付け作業



▲大型自動車免許講習

12月に入り雪が積雪となり、京極町の街並みは雪景色となっていました。11月は、人参と小豆の収穫、芋の選別、コンテナの片付け作業をしました。先月に引き続き、教習所に通い、大型自動車免許の講習を受けて無事取得できました。今月からいよいよ冬の除雪作業が始まります。冬期間は、役場の除雪作業に挑戦し、冬の京極町に慣れていくようにしたいです。

また、来年の農作業に向けて、農業研修に参加や本を沢山読み、知識を深めていきたいと思います。

今後も日々の活動を精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、来年の農作業に向けて、農業研修に参加や本を沢山読み、知識を深めていきたいと思います。

今後も日々の活動を精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

11月は秋作業の締めくくりとして、10月末から続く各作物の収穫・調整作業に携わりました。そばは収穫後の調整やとうみがけを行い、水分量や容積重といつた品質を整える工程を学びました。二エンジンは最終期の収穫で、気温低下による折れや割れを防ぎつつ掘り取る難しさを改めて実感しました。

特に印象的だったのは小豆の刈り取り作業です。今年は京極町全体で生育が良かつた反面、一次成長による倒伏が多く、刈り取りに苦労しました。さらに初雪や根雪の時期が迫り、品質低下を避けるためにも、天気予報を日々確認しながらの緊張感ある作業となりました。

農家さんの経験に基づく判断や段取りの良さ、重要性を間近でイメージしながら学べた、密度の高い期間となりました。

また、冬に向けた準備も始まり、農家さんは作業機械の手入れや倉庫の整理を進め、"冬眠モード"へ移行します。京極の農業が季節・自然とともに動いていることを改めて感じた1か月でした。

収穫の終盤戦と冬への移行



高橋 哲也 隊員

町の歴史と今の文化に触れました！



山中 潤一 隊員

大江裕コンサートの前座出演や、文化祭ではステージ班として密に関わり、舞台監督役や司会、ギター弾き語りで出演をさせていただきました。たくさんのご来場ありがとうございました。

関わる中で公民館の音響や照明に対する気付きがあり、今後少しでも良くなるようにと協議を進め出来ることをやつていただきたいです。

「後志総合振興局による協力隊向け研修会」や「まちづくり懇談会」「字名が改められた頃を振り返る」に参加をし、京極町のこれまでと今とこれからを様々に知りながら出来ることを探つており、これからも知ることを続けていきたいです。



▲LINEオープンチャット
(匿名で参加できる
グループLINEです)



◎老後のためだけのものではありません
せん

・国民年金には、年をとったときの
老齢年金のほか、障害年金や遺族
年金もあります。

・障害年金は、病気や事故で障害が
残ったときに受け取れます。

・遺族年金は、加入者が死亡した場
合、その加入者により生計を維持
されていた遺族（「子のある配偶
者」や「子」）が受け取れます。

20歳になつたら国民年金

住民福祉課

この1月に成人式を迎える大人の仲間入りをされる皆さんおめでとうござります。

皆さんのように日本に居住する20歳以上60歳未満の方は、国民年金に加入し毎月保険料を納めることになっています。

世代と世代の支え合いの仲間入り

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考え方で作られた仕組みです。

国民年金のポイント

- ◎将来の大きな支えになります
- ・国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。
- ・国が責任を持つて運営するため安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保証されます。

◎学生納付特例制度

学生の方は一般的に所得が少ないため、「ご本人の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する学生です。

「学生納付特例制度」と 「納付猶予制度」

★学生納付特例制度

学生の方は一般的に所得が少ないため、「ご本人の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

1月の小樽年金事務所

住民福祉課

●開設日時

1月21日（水）

午後1時00分～午後5時00分

●開設場所

後志労働福祉センター

（俱知安町南1条東1丁目）

●予約申込受付

小樽年金事務所お客様相談室

TEL 0134 (33) 5026

午前8時30分～午後5時00分

（土・日・祝日を除く）

・ご予約を受付の際には、相談者及び配偶者氏名、基礎年金番号、電話番号、相談内容について確認させていただきます。

農業委員会の総会は、毎月第4木曜日開会予定となります。
（農繁期等により日時変更を行うことがあります。）
総会案件については、開会日時の2週間前までに地区担当委員に申し出ください。

・1月の予定日時
日時 1月22日（木）
午後1時30分

農業委員会の総会は、毎月第4木曜日開会予定となります。

農業委員会からのお知らせ

農業委員会



* 人口や世帯の動き *

おくやみ申し上げます

個人情報の取扱いに配慮し、町ホームページに掲載する広報きょうごくPDFの
「おくやみ」欄等の内容は割愛させていただきます。ご了承ください。

人のうごき



令和7年11月末現在
()は前月との比較

● 人口	● 男性	● 女性	● 世帯数
2,741人 (-30)	1,345人 (-7)	1,396人 (-23)	1,448戸 (-30)

「京極町内の空き家・空き地」情報を寄せ下さい！

● 住宅管理にお困りの方

空き家をどなたかに「売りたい」「貸したい」とお考えの家主の方はお気軽にご相談ください。

● 空き地(宅地)の情報について

移住・定住の情報源としての、空き地(宅地)情報の整備も行います。

町が直接の仲介はできませんが、希望者に対しての情報提供を行わせていただきます。

● しりべし空き家BANKとは？

「しりべし 空き家 BANK」は、北海道、市町村と建築や不動産の専門家が連携し、空き家を「売りたい」、「貸したい」方のお手伝いをする組織で、事務局は後志総合振興局建設指導課にあり京極町も登録しています。

● 登録方法

企画振興課窓口もしくはWebにて申し込み後に、空き家バンクの担当
宅建業者と建築士が現地調査を行い物件を登録します。

● 登録条件

居住可能(改修要状態を含む)であり、登録者が不動産売買や賃貸業を
営んでいないこと。

◎ ご相談、お問い合わせについて

下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

京極町企画振興課地域振興係 … 0136-42-2111



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

2026年が皆様にとって充実した一年になりますようお祈り申し上げます。

寒さが厳しい季節ですので、体調管理には十分気を付けてお過ごしください。

情報発信はこちらから

京極町公式アプリ App Store



Google Play



京極町ホームページ

